



# 行事

九日【重陽の節句】

菊花を酒器にさして酒をくみかわす。

十三日【豆名月】

青豆を供え、風流人は月見をする。

# 旬

さんま

モンゴウイカ

里芋・新生姜

とうがん・なす

ぶどう・梨

いちじく・栗



福田の獅子舞



中秋の名月とともに

# 月見団子



## 材料

上新粉、白玉粉、団子の粉……………適量  
砂糖……………適宜

## つくりかた

① 団子の粉に砂糖は好みで入れ、水を少しずつ加えながら混ぜ、耳たぶくらいの硬さになるまでこねます。

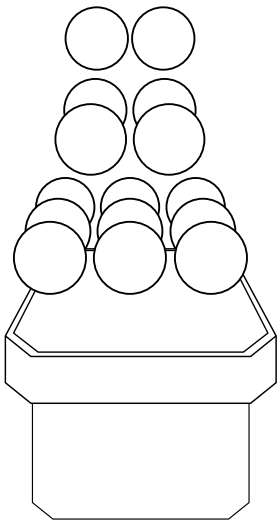
② 適当な大きさに丸めて、沸騰したお湯で2〜3分茹でる。団子が浮いてきたらすくって冷水中で冷やす。



## 月見団子の積み方

左の図のように、9個、4個、2個と積みまます。

3段目  
=2個  
2段目  
2×2=4個  
1段目  
3×3=9個



## 月見団子の由来

お月見は、中国から平安時代の宮中に伝わった月を愛でる宴の風習。旧暦8月15日に行われ、この頃の月を「十五夜」「中秋の名月」と呼びました。

江戸時代には庶民の行事としても定着し、秋の七草を飾りお団子や里芋などの季節の農作物を供えました。



竹原市内の保育所等でも、園児たちが食育の一環として「お月見」のことを習ったり、さらに月見団子づくりに挑戦したりしています。

# 竹原の秋祭

「福田の獅子舞」 稲生神社



▲県無形民俗文化財 福田の獅子舞

(福田町) 10月頃

約250年前(江戸

中期) 現・福田町

一帯で、干ばつな

どの天災が相次

ぎ、疫病の流行も

あつて多くの人が

亡くなりました。

このため、五穀豊

作と疫病の退散を

祈念して氏神に獅子舞を奉納したと伝えられています。

獅子舞は毎年10月頃の神社の秋祭りのとき、境内で披露されます。その年、12歳になる男子4人が、赤い着物に青だすき、はかまをつけ、頭には金色のボタン花笠をかぶった稚児姿で大太鼓の打ち手を勤めます。背後で、2頭の獅子が、大太鼓、はやし方の鉦、横笛に合わせ、ゆったりと舞います。ボタンの花にたわむれる親子獅子を表現したと言われ、獅子舞には珍しく、女性的で、優雅な舞です。

「磯宮八幡神社の例祭」 磯宮八幡

(田ノ浦) 9月中旬

9月敬老の日の前の土日に行われる秋の例祭です。

稔りに対する感謝の祭で、

「ふとん太鼓」が練り歩きます。

「ふとん太鼓」が導入され

た経緯は不明ですが、大正11

年の「竹原書院時報 第一号」

に「明治11年四町の当番の

時、初めてふとん太鼓を作り

…」との記述があることか

ら、明治11年から始まったものであることが推測

されます。

昭和35年塩田が廃止になると年々担ぎ手が減

り、昭和50年代には途絶えることとなりました。

一度は途絶えた「ふとん太鼓」でしたが、平成

9年に「ふとん太鼓」を新調、復活し、現在に引

き継がれています。

竹原商工会議所青年部が世話役となり厄年を迎

える男性などによって曳かれ、小学校高学年の4

人が「ふとん太鼓」に乗り込み、ふとん太鼓囃唄

を唄いながら太鼓を叩き、竹原町内を巡行します。



▲復活した「ふとん太鼓」

▲竹原町内を巡行する「ふとん太鼓」